

★ 在庫なし刊行物 ★

書名	刊行年月	判型	頁数	定価	発行所
★本会編集刊行物★					
製鉄用語集(1版)	大14. 4	3. 5	116	—	協会
“ (2版)	昭11. 4	3. 5	116	—	“
鉄鋼要覧(1版)	19. 8	4. 6	1,407	10	“
“ (改訂2版)	23. 2	“	1,357	非売	“
“ (改訂3版)	27. 1	“	1,394	1,400	丸善
鉄鋼便覧(上記要覧の改編・改称4版)	29. 4	A 5	956	1,600	“
最近日本鉄鋼技術概観	25. 3	A 4	516	650	学振
Physical Metallurgy of Austenitic Stainless Steel.by Helmut Thielsch	25. 9	B 5	—	—	鉄連
Physical and Welding Metallurgy of Chromium Stainless Steel.by Helmut Tielsch	26. 1	“	—	—	“
熔鋳炉バンキング研究会報告	22. 8	“	78	200	協会
鉄鋼対策技術委員会報告	22. 8	“	102	200	“
鉄と鋼総目録(第1年~第20年-大4.3~昭9.12)	10.12	A 4	138	300	“
“ (第21年~第40年-昭10.1~昭29.12)	31. 8	B 5	104	300	“
鉄鋼製造法(上)	31. 6	“	520	900	丸善
“ (中)	31. 8	“	468	900	“
“ (下)	31.10	“	420	900	“
Tetsu-to-Hagané Abstracts No 1 (1951)	1953. 8	“	56	200	協会
“ No 2 (1952)	1954. 8	“	71	300	“
“ No 3 (1953)	1955. 8	“	69	300	“
“ No 4 (1954)	1956.12	“	73	300	“
“ No 5 (1955)	1957.12	“	78	300	“
“ No 6 (1956)	1958. 8	“	83	300	“
“ No 7 (1957)	1959. 3	“	80	300	“
“ No 8 (1958)	1959. 9	“	87	300	“
Pelletizing of Iron Ore Concentrates,by T.L.Joseph	昭30. 3	A 5	46	200	“
第1回鉄鋼計測講習会テキスト	30.11	B 5	103	500	“
鋼中非金属介在物の講習会テキスト	33. 7	“	58	500	“
鉄鋼の使い方テキスト	32. 6	“	160	500	“
鋼の熱処理と作業標準(第1版)	26. 4	“	177	300	丸善
“ (改訂増補2版)	27. 9	“	269	650	“
“ (増補第3版)	29. 1	“	295	650	“
鋼の熱処理-基礎と作業標準-(第4版・改編, 改称)	32. 3	“	670	2,000	“
熱経済技術要覧(計測編)	28.12	A 5	440	850	“
工業計測(上記計測篇の改題, 第2版)	29.11	“	468	850	“
加熱炉の設計と実際並に熱精算の方式	29.10	“	352	850	“
倭国一先生を偲ぶ	34. 7	“	472	—	協会
鉄鋼2次製品生産設備の現況	41.12	B 5	242	500	“
世界鉄鋳資源要覧-世界鉄鋼資源分布図-	41.11	—	—	会6,000	“
(科学技術庁資源局編)				非8,000	
圧延理論とその応用	44.12	A 5	445	3,800	“
鉄鋼2次製品生産設備の現況(昭和45年12月末現在調)	46. 9	B 5	244	1,000	“
(鉄鋼二次製品生産設備調査委員会編)					

書名	刊行年月	判型	頁数	定価	発行所
<b>★ 特別報告書 ★</b>					
特別報告書No.6 わが国における最近の分塊技術の進歩 (鋼板部会分塊科会編)	昭 43. 8	B 5	272	会1,900 非2,400	協 会
<b>★ 鋼材マニュアル ★</b>					
鋼材マニュアルシリーズ 5 薄板マニュアル「熱延鋼板編」	48. 2	B 5	135	会1,000 非1,500	協 会
<b>★ 鉄と鋼特集号 ★</b>					
鑄型分科会報告書 (第46巻第 8 号)	35. 7	B 5	120	200	協 会
"    別冊	"	"	100	200	"
特殊鋼部会報告書 (第46巻第13号)	35.11	"	130	400	"
厚板分科会報告書 (第47巻第 8 号)	36. 7	"	146	400	"
線材分科会報告書 (第47巻第13号)	36.11	"	116	400	"
中小形分科会報告書 (第48巻第 3 号)	37. 2	"	112	500	"
分塊分科会報告書 (第48巻第10号)	37. 8	"	158	500	"
製鉄技術の進歩 (第49巻第 9 号)	38. 8	"	90	500	"
帯鋼分科会報告書 (第49巻第14号)	38.12	"	146	500	"
鋼管分科会報告書 (第50巻第 7 号)	39. 6	"	170	500	"
平炉製鋼法の進歩 (第50巻第 9 号)	39. 7	"	106	550	"
鉄鋼技術の進歩 (創立50周年記念号) (第51巻第 3 号)	40. 3	"	580	750	"
圧延ロールの材質と寿命 (第57巻第 5 号)	46. 4	"	190	400	"
鋼の脱酸と鋼材の性質 (第57巻第13号)	46.11	"	307	400	"
圧延技術の進歩 (第59巻第13号)	48.11	"	235	800	"
鋼の連続鑄造 (第60巻第 7 号)	49	"	340	2,000	"
鉄鋼材料の破壊靱性 (第64巻第 7 号)	53	"		3,300	"
<b>★ 共研・基共研関係資料 ★</b>					
鋼材圧延用鑄鉄ロールに関する研究	29. 6	B 5	307	520	協 会
鋼塊用鑄型に関する研究	29. 6	"	317	550	"
鋼材圧延の研究 (第 1 巻)	29.10	"	834		"
"    (第 2 巻)	29.12	"	565	計2,400	"
"    (第 3 巻)	29.12	"	612		"
最近における平炉製鋼法の進歩	30. 5	"	527	650	"
鋼塊表面疵の分類	32. 2	A 4	35	80	"
最近における製鉄技術の展望	31.11	"	390	1,000	"
圧延鋼材に発生する疵の分類	—	"	—	80	"
電子管計器要覧	33. 1	B 6	180	370	丸 善
鉄鋼港灣は如何にあるべきか	38. 7	B 5	90	—	協 会
各製鉄所における製鉄設備の展望 (製鉄部会編)	38.10	"	254	1,000	"
各製鉄所における製鉄設備の展望	41.10	"	150	500	"
溶鉄溶滓シンポジウム資料 (溶鋼溶滓部会編)					"
第 1 回「溶鉄溶滓の密度および粘性」	41.10	"	—	1,500	"
第 2 回「溶鉄溶滓における拡散および界面現象」	42.10	"	—	350	"
第 3 回「溶滓における電気伝導について」	38. 4	"	—	350	"
第 4 回「溶鉄および溶滓の密度, 粘性, 蒸気圧について」	43. 9	"	—	400	"
第 5 回「熔融金属および溶滓の比熱, 混合熱, 生成熱について」	44. 3	"	—	400	"

書名	刊行年月	判型	頁数	定価	発行所
第6回「溶鉄の副射率珪酸塩の赤外線吸収」	44.10	〃	78	500	〃
第7回「溶鉄溶滓部会研究経過報告」	45.10	〃	190	1,000	〃
第8回「溶鉄溶滓の物性に関するシンポジウム」	47. 1	〃	148	1,000	〃
中小形鋼材に発生する欠陥(中小分科会編)	42.	〃	42	500	〃
鋳型設計手順(鋳型分科会編)	42. 8	〃	77	300	〃
造船用規格鋼材の統一記号	昭 42.11	B 5	—	80	協 会
鋼中微量元素としてのNbの影響に関する研究 (微量元素部会 Nb 分科会編)					
報告書(I)	42.11	—	—	3,000	〃
報告書(II)	42.12	—	—	1,000	〃
線材工場設備レイアウト一覧(線材分科会編)	43. 6	〃	66	1,000	〃
中小型工場設備レイアウト一覧	43. 6	〃	—	1,000	〃
コンベアスケールまとめ資料	44.11	〃	—	200	〃
鋼中微量元素としてのVの影響に関する研究 (微量元素部会 V 分科会編)	45. 7	〃	—	1,500	〃
鉄鋼オートメーション国際会議概要編(1970)(計測部会編)	45. 6	〃	174	1,000	〃
論文(I)「製鉄・製鋼編」	45. 8	〃	403	2,000	〃
論文集(II)「圧延編」	45. 8	〃	336	2,000	〃
純鉄の精製と性質(純鉄部会編)	46. 2	〃	278	1,000	〃
キルド鋼中の非金属介在物に関する研究	46. 2	〃	540	5,000	〃
鋼中V化合物の定量に関する研究(微量元素部会 V 分科会編)	46. 2	〃	—	1,500	〃
鉄鋼の強度と靱性	46. 6	〃	78	500	〃
鋼の組織と強度・靱性	47. 2	〃	55	600	〃
鋼における水素の挙動(I)	47.11	〃	82	600	〃
中小形工場レイアウト一覧	48. 2	〃	57	1,000	〃
電子式はかり(計測部会編)	48. 3	〃	221	700	〃
鉄鋼の工業けい光X線分析方法(けい光X線分析分科会)	48. 5	A 5	198	2,000	〃
放射温度計小委員会終了報告(計測部会)	48. 7	B 5	164	900	〃
鋼における水素の挙動(II)	48.11	B 5	113	800	〃
固体質量分析法の鉄鋼業への応用	49. 2	B 5	102	1,000	〃
鋼の微視組織と強度・靱性	49. 2	B 5	65	600	〃
The Report of the third International Symposium on Iron and Steel (UNDO 報告)	49. 5	B 5	86	非売品	〃
圧延研究の進歩と最新の圧延技術	49. 5	〃	332	2,500	〃
鉄鋼薄板の再結晶および集合組織(I), (II)	49. 7	〃	196 780	4,500	〃
鋼の強化組織と延性・靱性	50. 1	〃	295	2,500	〃
輸出鋼材船内保定作業標準	50. 3	B 4	70	480	〃
鉄鋼二次製品生産設備の概要	50. 7	B 5	245	1,000	〃
★学協会共同編集刊行物★					
Japan Science Review—Mining and Metallurgy—	1957. 2	B 5	185	400	金属学会
〃 Vol. 1. No 1	1957.12	〃	196	450	協 会
〃 Vol. 1. No 2	1958. 3	〃	112	320	〃
〃 Vol. 2. No 1	1959. 3	〃	118	350	日本鉄業会
〃 Vol. 2. No 2					
(本刊行物は、済会、日本金属学会、日本鉄業会、日本鋳物協会、熔接学会、軽金属協会、金属表面技術協会の7学協会の共同編集 Vol. 2. No 2 以降休刊)					
鋼の焼もどし脆性に関する研究	51. 6	B 5	154	1,500	〃
わが国における製鉄設備の概要					